



未来橋

令和6年12月

高浜町立高浜中学校



Takahama Junior High School

人権が尊重される社会に

先月末、以下の広告が新聞に掲載されました。

新規中学校卒業予定者等を採用予定の雇用主の皆さんへ

- ◇応募者に広く門戸を開くとともに、応募者の適性と能力に基づいた公正な採用選考をお願いします。
- ◇12月1日は新規中学校卒業予定者の採用選考開始日です。
- ◇応募書類は「職業相談票」を使用しましょう。
- ◇平成28年12月 部落差別解消推進法が施行されました。
- ◇採用選考時に本籍・出生地など本人に責任のない事項を把握することや、身元調査を行うことは、就職差別につながるおそれがあります。

厚生労働省・福井労働局・ハローワーク

今では当たり前のように感じる内容ですが、かつてはそうではなかったことがあり、現在でもなお掲載し続けなければならない現実があります。



3年社会 平等権「履歴書の変遷」

差別に負けない生き方を

先日、町の校長会で、県や町の部落差別解消の先頭に立ち、70年近くにわたり運動に携わってこられた方から貴重なお話を伺いました。

その方は90歳を超えた今でも、若い頃に東京で就職した際に味わった辛い経験が忘れられないと言いました。また、会社を辞めざるを得なくなり、差別のない環境を求めて必死に勉強したこと、仲間と共に立ち上がり差別と闘う運動を続けてきたこと、さらに現在もネット上で誹謗中傷や差別的な書き込みが絶えず拡散している現状について、体験を交えながら思いを語ってくださいました。

「差別を完全になくすのは難しいかもしれない。しかしそれを理由に何もしないではなく、差別をなくそうとする道を歩んでほしい。そのことは、社会の冷たさを感じた者にとって生きる希望となり、人の世に熱と光をもたらすのです。」その搖るぎない言葉を重く受け止め、心に刻みたいと感じました。



2年道徳 本当の友達について

気づき、ともに考える学びから

学校では、差別を「しない」「させない」「許さない」生徒の育成をめざし、人権教育に取り組んでいます。しかし、その実現は容易ではありません。

偏見や差別につながる要因に気づき、傍観や無関心を装って差別に同調し助長をしていないかをよく考えることが重要です。その上で、どのような判断や行動が大切であるかを話し合い、具体的な事例をもとに学習しています。



1年クラス会議 「学級目標の実現に向けて」

「足を踏まれた人の痛みは、踏んでいる側は気づきにくい」と言われるように、他者の立場にたつことは難しいものです。だからこそ、大人も子どももその痛みに気づき、相手の気持ちを理解する努力をし、自らを振り返ることから始める必要があると思います。

1年 English Camp



若狭湾青少年自然の家で、外国人指導助手(ALT)や大学留学生と共に1泊2日の英語交流学習を実施しました。様々な活動を通じて、外国人の先生方と打ち解け、英語が通じる喜びやコミュニケーションの楽しさを体験しました。

また、生徒たちは積極的に実行委員に立候補し、活動の目標設定や進行、挨拶などを担当しました。全員が一役を担い、共同生活を通じて親睦を深め、絆を強めることができました。最後には、別れを惜しんで涙ぐむALTもあり、心に残る有意義な時間を過ごしました。

2年 職場体験学習



キャリア教育の一環として、30カ所の事業所や店舗にご協力いただき、職場体験学習を実施しました。働く方や来客と接する中で、働くことや学ぶことの意義を理解し、将来の進路に対する態度や意欲を培うことを目指しています。体験の依頼電話から始まり、働く上のマナー・ルールの習得、終了後の礼状作成など、社会人として求められる多くの学びを通して、日頃の学習や生活態度を振り返る良い機会となりました。

本学習の趣旨をご理解いただき、懇切丁寧にご指導・ご支援いただいた皆さんに、心よりお礼申し上げます。

3年 探究学習（高浜未来創造プラン）



空き家・キッズフリーマーケット(まちなか交流館)

高中生と七味づくり講座(高浜公民館)

はなあかり乗客へのPR活動(JR若狭高浜駅)

生活と地域との関わりの中から課題を見つけ、地域の方々の協力を得ながら試行錯誤を重ね、その解決に向けて学習を進めてきました。これまでの学習のまとめとして、具体的な取り組みや活動内容、成果について発表会を行います。どなたでもご都合がよろしければ、ぜひお越しください。お待ちしております。

<3年 探究学習発表会>

○日 時 12月17日(火) 13:20~15:10

○場 所 高浜中学校 多目的教室、各教室ほか

○発表者 3年生 19グループ